

写真パネル「アグネス大使の中央アフリカ共和国レポート」をみやぎ生協の店舗で開催しました

1960年の独立以来、相次ぐ動乱や独裁政治が続き、一部から「破綻国家」「幽霊国家」とまで呼ばれていた中央アフリカ共和国。泥沼化する内戦でさらなる「崩壊の危機」に瀕しているこの国では、ユニセフがシリア、南スーダンと並び、全組織をあげて人道支援活動を最優先で取り組んでいます。アグネス・チャン日本ユニセフ協会大使は、4月16日から3日間、日本を代表する新聞社や通信社の記者の方々とともに同国を訪問。世界でもあまり伝えられない同国の子どもたちの置かれている窮状を、写真を通して伝えています。



■みやぎ生協蛇田店（石巻市蛇田字新金沼 430-1）2Fギャラリー

10月18日（土）～27日（月）

■みやぎ生協名取西店（名取市手倉田字八幡 612）2Fフリースペース

10月30日（木）～11月5日（水）

■みやぎ生協利府店（利府町利府字堀切前 35-1）集会室

11月10日（月）～13日

■みやぎ生協白石店（白石市八幡 11-1）センターコート これからの開催です：12月9日（火）～11日（木）



ハンド・イン・ハンド(募金活動)実施中です

みやぎ生協のこ〜ぷ委員会が中心となって、店舗のおまつりなどで、ハンド・

イン・ハンド募金活動を展開しています。お子さんたちもボランティアとして大活躍です。今年のテーマは『誰でも大切ないのち』です。子どもたちは世界中どこに生まれても元気に生きる権利があります。子どもたちの輝かしい未来のために！



出前講座でパネルシアターを使いました

聖ドミニコ学院小学校では、毎年12月初めの土曜日に仙台市内で街頭募金活動を行っています。全校児童190名が先生や保護者のみなさんと一緒に道行く人たちにユニセフ募金を呼びかけて、たくさんの募金を届けてくださっています。その事前学習のひとつとして、ユニセフの学習会を開催しています。1年生から3年生のクラスでは、「100円でできること」や「募金の流れ」を、パネルシアターでお知らせしました。「日本の赤ちゃん・世界の赤ちゃん」を写真で見



て、グループごとにディスカッションしました。楽しい時間でした。

今年のハンド・イン・ハンド（街頭募金活動）で、ボランティアを募集しています！！

1979年の国際児童年には始まり、今年で36回目を迎えます。毎年11月～12月をハンド・イン・ハンド募金月間とし、ユニセフを支援くださる全国のみなさまが、街頭やイベントで職場や学校で、ユニセフ募金活動に工夫を凝らしてくださっています。一人ひとりの力が日本中に広がり、大きな力となる募金活動。一緒に世界の子どもたちへ笑顔を届けませんか。今年も多くの方々のご参加をお待ちしております。お申し込みは下記まで。



宮城県ユニセフ協会 〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2 みやぎ生協ウイズ1F

事務所：月曜日～金曜日

Tel 022-218-5358 Fax 022-218-5945 E-mail sn.municef_miyagi@todock.jp

10:00～17:00

新しい情報はホームページが便利です <http://www.unicef-miyagi.gr.jp>

上記以外 080-5849-6072(五十嵐栄子)